

科目名	病態学 I		時期		時間	単位
担当教員	非常勤講師		1 年次	後期	30時間	1 単位
科目設定理由	患者の看護を適切に行うには、看護援助の知識に加え、その患者の身体にどのような異常が生じているのか、またその異常が患者にどのような苦痛や障害を引き起こしているのかを理解しなければならない。そして、損なわれた生理機能を回復したり、失われた機能を補填するにはどうすればよいかを知り、治療や援助にどうつなげるかを考える根拠を知ることが重要である。そこで、解剖生理学で学習した正常な生理機能の知識を踏まえ、疾患により障害された部位への影響と疾患により発生する症状のメカニズム、検査・診断・治療について学ぶため当該科目を設定した。					
学習目標	疾患により障害された呼吸器系、循環器系、血液・造血器系への影響と、疾患により発生する症状のメカニズム、検査・診断・治療について理解する					
授 業 計 画						
回数	項目	内容				備考
1~2	呼吸器疾患の病態・診断・検査・治療①	1 気管支炎、肺炎、間質性肺炎、胸膜炎 2 気管支喘息 3 COPD 4 睡眠時無呼吸症				講義
3~5	呼吸器疾患の病態・診断・検査・治療②	1 肺循環障害（肺高血圧、肺塞栓症） 2 肺結核 3 気胸 4 腫瘍（肺がん、中皮腫）				講義
6~10	循環器疾患の病態・診断・検査・治療	1 心臓の疾患の病態と診断・治療 (1) 先天性心疾患 (2) 虚血性心疾患 (3) 心筋症 (4) 心タンポナーデ (5) 不整脈 (6) 炎症性疾患 (7) 弁膜症 2 血管系の疾患の病態と診断・治療 (1) 大動脈瘤、大動脈解離 (2) 閉塞性動脈硬化症 (3) 下肢静脈瘤・深部静脈血栓症 3 血圧異常の病態と診断・治療 (1) 動脈硬化症 (2) 本能性高血圧 (3) 二次性高血圧 (4) 起立性低血圧				講義
11~12	血液・造血器系疾患の病態・診断・検査・治療①	1 貧血 2 出血性疾患（TTP, ITP, DIC）				講義
13~14	血液・造血器系疾患の病態・診断・検査・治療②	1 白血球減少症 2 腫瘍（白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫）				講義
15	試験					
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[2] 呼吸器	朝倉 啓介 他		医学書院		
	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[3] 循環器	吉田 俊子 他		医学書院		
	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[4] 血液・造血器	飯野 京子 他		医学書院		
参考図書・資料等						
評価方法	筆記試験					